

MENU

SEARCH

INDEX

1/1



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number: 09189940

(43)Date of publication of application: 22.07.1997

(51)Int.Cl.

G03B 13/02

G03B 17/20

(21)Application number: 08001552

(71)Applicant:

CANON INC

(22)Date of filing: 09.01.1996

(72)Inventor:

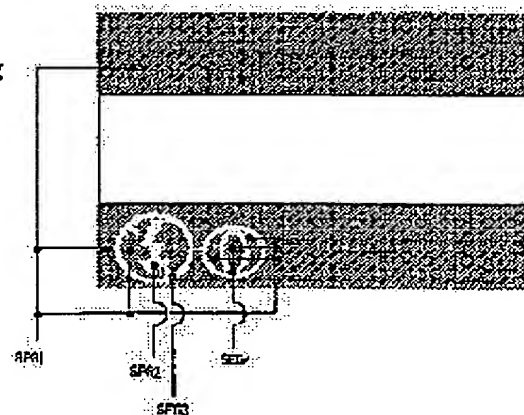
OSHIMA KOJI

(54) DISPLAY DEVICE WITHIN FINDER AND CAMERA PROVIDED THEREWITH

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a display device within a finder capable of clearly displaying photographing information in an easy-to-view state within the finder by constituting the device of a regulation display part performing only regulation display and an information display part selectively performing the regulation display and information display.

SOLUTION: The respective display segments of an LCD are independently driven according to respective driving signals SEG1 to SEG4 corresponding to the segments in response to the impressing of voltage from an LCD driver, and become transparent (off-state) in a non-driven state and nearly a light shielding state (on-state) because density gets high in a driven state. Namely, the display segments corresponding to the driving signals SEG1 to SEG4 become the on-state according to input (on) of the driving signals SEG1 to SEG4 on the actual LCD. The on/off state of a panorama mask is controlled according to the driving signal SEG2, and the on/off state of a forcible light emission inhibiting mark and the on/off state of softening a red-eye phenomenon are controlled according to the driving signals SEG3 and SEG4, respectively.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998 Japanese Patent Office

[MENU](#)

[SEARCH](#)

[INDEX](#)

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平9-189940

(43)公開日 平成9年(1997)7月22日

(51)Int.Cl.⁶

G 0 3 B 13/02
17/20

識別記号

庁内整理番号

F I

G 0 3 B 13/02
17/20

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数5 O L (全 9 頁)

(21)出願番号 特願平8-1552

(22)出願日 平成8年(1996)1月9日

(71)出願人 000001007

キヤノン株式会社

東京都大田区下丸子3丁目30番2号

(72)発明者 大嶋 孝治

東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤ
ノン株式会社内

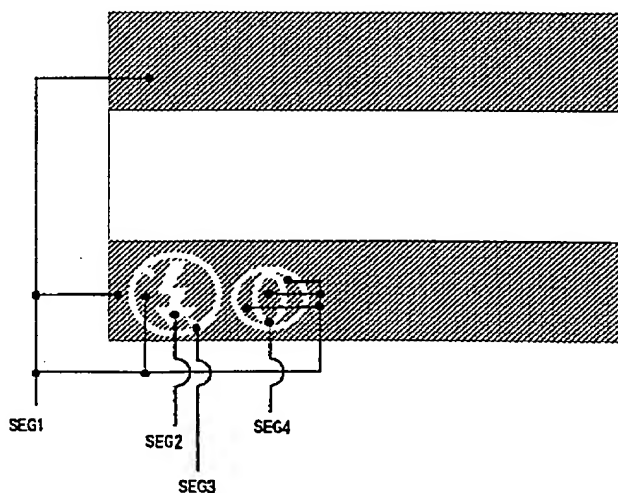
(74)代理人 弁理士 本多 小平 (外3名)

(54)【発明の名称】 ファインダー内表示装置およびこれを備えたカメラ

(57)【要約】

【課題】 パノラマ撮影用の視野規制部材に形成された穴を通して情報表示を見るタイプのファインダー内表示装置では、視野規制領域内にて不要なヒント面が常時見えてしまう。

【解決手段】 ファインダー視野の一部の規制表示を行う表示手段(LCD)23を有したファインダー内表示装置において、上記表示手段を、規制表示のみを行う規制表示部30と、規制表示および所定の情報表示を選択的に行う情報表示部31~33とから構成する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 ファインダー視野の一部の規制表示を行う表示手段を有したファインダー内表示装置において、前記表示手段は、前記規制表示のみを行う規制表示部と、前記規制表示および所定の情報表示を選択的に行う情報表示部とを有して構成されていることを特徴とするファインダー内表示装置。

【請求項2】 前記情報表示部は、前記規制表示部にて前記規制表示が行われた場合に、この規制表示と同じ色になって前記規制表示を行い、前記規制表示と異なる色になって前記情報表示を行うことを特徴とする請求項1に記載のファインダー内表示装置。

【請求項3】 前記表示手段が液晶表示器からなり、前記規制表示部および前記情報表示部がそれぞれ表示セグメントにより構成されていることを特徴とする請求項1又は2に記載のファインダー内表示装置。

【請求項4】 前記規制表示は、パノラマ撮影を行うためにファインダー視野の規制を行うものであることを特徴とする請求項1から3のいずれかに記載のファインダー装置。

【請求項5】 請求項1から4のいずれかに記載のファインダー内表示装置を備えたことを特徴とするカメラ。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【発明の属する技術分野】 本発明は、カメラ等のファインダー内に備えられる表示装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 カメラには、通常画面サイズでの撮影（通常撮影）といわれるパノラマサイズでの撮影（パノラマ撮影）との切り換えが可能なものがある。このようなカメラにおいては、パノラマ撮影が選択された場合に、通常撮影時におけるファインダー視野の上部と下部とを遮光することによって視野規制を行い、通常撮影時に比べて縦方向に狭いファインダー視野を作るようにしている。例えば特開平5-249545号公報に提案されているカメラでは、ファインダー視野内に板状の遮光部材を配設することによって視野規制を行うようにしている。

【0003】 ところで、カメラは種々の撮影情報の設定が可能となっている場合が多く、例えばフラッシュに関しては、強制発光および発光禁止モードやいわゆる赤目防止のため撮影に先だってフラッシュを点滅させる赤目緩和モードといったモード設定が可能であることが多い。この場合、撮影者がファインダーを覗いた状態でこれらモードの設定状況を把握できるように、ファインダー内の下部等にはこれら情報に対応するマークや数字が液晶表示器等によって表示される。そして、上記公報提案のカメラでは、パノラマ撮影時に遮光部材によって上記マーク等が見えなくなると困るため、遮光部材に穴を形成し、この穴を通して上記マーク等を確認できるよう

にしている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、上記公報提案のカメラでは、パノラマ撮影時において、遮光部材に形成された穴を通してパノラマ撮影を行う視野以外のビント面が常時見えることとなり、美観面で好ましくないという問題がある。また、液晶表示器以外に遮光部材やこれを動作させる機構が必要となるため、構造が複雑になるという問題もある。

【0005】 そこで、本発明の第1の目的は、撮影情報等をファインダー内に見易くかつ美しく表示できるようにしたファインダー内表示装置、さらにはこれを備えたカメラを提供することにある。

【0006】

【課題を解決するための手段】 上記の目的を達成するために、本願第1の発明では、ファインダー視野の一部の規制表示を行う表示手段を有したファインダー内表示装置において、上記表示手段を、規制表示のみを行う規制表示部と、規制表示および所定の情報表示を選択的に行う情報表示部とから構成している。

【0007】 すなわち、例えば液晶表示器によって作った表示手段において、規制表示部および情報表示部をそれぞれ別個の表示セグメントにより構成する。そして、パノラマ撮影のため規制表示部を遮光状態とした場合に、情報表示部も遮光状態（つまりは規制表示部と同じ色）とすることによって、視野規制領域内に不要なビント面が現れてしまうことを防止している。また、規制表示部を遮光状態とした場合に、情報表示部を透明状態（つまりは規制表示部と異なる色）とすることによって、情報マーク等を見易く浮き出させるようにしている。

【0008】 なお、ここにいう「色」には透明を含み、「異なる色」には色相が異なる色はもちろん、明度（濃淡）が異なる色も含む。

【0009】 また、本願第2の発明では、カメラに上記のようなファインダー内表示装置を取り付けることにより、使い易いカメラを実現している。

【0010】**【発明の実施の形態】**

（第1実施形態） 図5は本発明の第1実施形態であるファインダー内表示装置を具備したカメラを示すものであり、このカメラでは、撮影レンズ21を通過した被写体光がフィルム面に、対物レンズ22を通過した被写体光が透過型液晶表示（以下LCDという）23を通過して、接眼レンズ24を通り、撮影者の眼球に導かれる。

【0011】 図2は、上記ファインダー内表示装置を具備したカメラの概略を示すブロック図であり、この図中、1はカメラの電源である電池であり、2はカメラの各種回路を制御するCPUである。このCPU2は内部にプログラムを内蔵したROMや各種のフラグの内容等を記憶したRAM等を有している。また、CPU2は、

この実施形態のファインダー表示装置の全体的な制御も行っている。

【0012】3はフィルムの巻き上げや巻き戻しを行うモータ4を駆動するフィルム駆動回路であり、6はストロボ回路5に制御されて閃光発光するキセノン管、7は不図示のシャッタの開閉を行うシャッタ駆動回路、8はAF回路11での測距結果に基づいて不図示のレンズを動かすフォーカスモータ9を駆動するフォーカス駆動回路である。

【0013】10は不図示の測光センサを用いて被写体輝度を測光するAE回路、11は被写体へ向けて投光を行う不図示のIREDを光らせるとともに、その反射光を受光する不図示のPSDからの受光信号を処理し被写体距離を検出するAF回路である。

【0014】12はカメラ外装部に装着され、電池残量表示や各種の撮影情報の表示、警告等を行う液晶等からなる表示器、13はファインダー内での撮影情報の表示や視野マスク表示を行うLCDを用いた、本発明のファインダー内表示装置である。なお、視野マスク表示は、パノラマ撮影時にファインダー内をパノラマ用視野にするためのものである。

【0015】SW1は不図示のリリースボタンの第1ストローク操作によりONするスイッチ、SW2は上記リリースボタンの第2ストローク操作によりONするスイッチである。RWSWはフィルムの巻き戻しを強制的に行うリワインドスイッチ、SESWはセルフタイマを作動させるためのセルフスイッチ、PANOSWはパノラマ撮影と通常撮影とを切り換えるスイッチであり、ON操作されるとパノラマ撮影モードになる。

【0016】図6はファインダー内表示装置13のブロック図である。LCD23はLCDドライバ14により制御され、LCDドライバ14はCPU2より制御されている。LCD23の各表示セグメントは、それぞれに対応した各駆動信号SEG1～4によりLCDドライバ14からの電圧の印加に応じて独立に駆動され、非駆動状態では透明（以下、オフ状態という）、駆動状態では高濃度となってほぼ遮光状態（以下、オン状態という）となる。

【0017】図7は実際のLCD23を示すものであり、駆動信号SEG1～4の入力（ON）によりそれぞれに対応した表示セグメントがオン状態となる。

【0018】図1はファインダー内表示装置13によるLCD23の表示例であり、同図（a）と（b）には、表示セグメントであるパノラママスク30、強制発光マーク31、強制発光禁止マーク32および赤目緩和マーク33をわかり易く表示したものである。パノラママスク30のオンオフ状態は駆動信号SEG1により、強制発光マーク31のオンオフ状態は駆動信号SEG2により、強制発光禁止マーク32のオンオフ状態は駆動信号SEG3により、赤目緩和マーク33のオンオフ状態は

駆動信号SEG4によりそれぞれ制御されており、

（a）は駆動信号SEG1のみをオンしてパノラママスク30をオン状態にした図、（b）は駆動信号SEG1をオフしてパノラママスク30はオフ状態とし、駆動信号SEG2、3、4をオンして強制発光マーク31、強制発光禁止マーク32および赤目緩和マーク33をオン状態にした図である。

【0019】（c）は、不図示のカメラの撮影モード設定スイッチにより撮影モードである強制発光モードが設定された場合におけるパノラマ撮影時の表示であり、駆動信号SEG1、3、4をオンしてパノラママスク30、強制発光禁止マーク32および赤目緩和マーク33をオン状態とするとともに駆動信号SEG2をオフして強制発光マーク31をオフ状態とすることにより、パノラママスク上に強制発光マークのみを表示している。

【0020】（d）は、（c）とは逆の通常撮影時、つまり、カメラの撮影モード設定スイッチで強制発光モードが設定された場合における通常撮影時の表示であり、駆動信号SEG1、3、4をオフしてパノラママスク30、強制発光禁止マーク32および赤目緩和マーク33をオフ状態とするとともに、駆動信号SEG2をオンして強制発光マーク31をオン状態とすることにより、強制発光マークのみを表示している。

【0021】図3および図4は本実施形態におけるカメラの作動フローチャートであり、以下これに従って説明する。

【0022】[ステップ101] 電池1がカメラの電池収納室に装填されると、カメラの各種回路に電源供給を行い、さらに各種のフラグ等の初期化（リセット）をしてステップ102へと進む。

【0023】[ステップ102] ストロボ回路5へストロボ充電開始信号を出力し、ストロボ充電を撮影に備えて行う。そしてストロボ回路5よりストロボ充電完了信号が入力されると、ステップ103へと進む。

【0024】[ステップ103] 撮影モード設定スイッチにより選択されている撮影モードの設定を行い、表示器12に撮影モード等の情報の表示を行う。

【0025】[ステップ104] ファインダー内表示装置13にて、ファインダー内に撮影モード等の情報の表示やパノラマ撮影時であればファインダーの視野をパノラマ用に規制を行うパノラマの表示を行う。このステップの詳しい動作については後述の図4のサブルーチンフローチャートで説明する。

【0026】[ステップ105] スイッチSW1、撮影モードスイッチ、パノラマスイッチPANOSW、セルフスイッチSESWおよびリワインドスイッチRWSW等のスイッチに変化が発生するまでウェイトし、変化が発生した時点で改めてすべてのスイッチ状態を検知して次のステップ106に移行する。なお、ここではスイッチSW1がONされた場合、パノラマスイッチPANO

SWに変化が生じた場合又は撮影モードスイッチに変化が生じたものとして説明を続ける。

【0027】[ステップ106] ステップ105にてカメラの撮影モード設定スイッチで新に選択された撮影モードの設定を行い、表示器12にその撮影モードの情報の表示を行う。

【0028】[ステップ107] 新たなスイッチの状態にファインダー内表示装置13にて、ファインダー内に撮影モード等の情報やパノラマの有無の表示を行う。このステップの詳しい動作については後述の図4のサブルーチンフローチャートで説明する。

【0029】[ステップ108] スイッチSW1の状態を判別し、OFFであればステップ105へ戻り、ONであればステップ109へ進む。

【0030】[ステップ109] AF回路11を動作させ、被写体へ向けてIREDを光らせ投光を行い、PSEDよりデータを得て被写体までの距離情報の測距データを得る。

【0031】[ステップ110] AE回路10を動作させて被写体輝度を得る。

【0032】[ステップ111] 上記ステップ109およびステップ110で取り込んだ測距および測光情報と、設定されている撮影モード情報とに基づいて露光動作情報を演算し、ステップ112へ移行する。

【0033】[ステップ112] ファインダー内表示装置13にて、ファインダー内に撮影モード等の情報の表示、パノラマの有無の表示を行う。このステップの詳しい動作については後述の図4のサブルーチンフローチャートで説明する。

【0034】[ステップ113] 再びスイッチSW1の状態を判別し、OFFであればステップ105へ戻り、ONのままであればステップ112へ進む。

【0035】[ステップ114] スイッチSW2の状態を判別し、OFFのままであればステップ112へ戻って同様の動作を繰り返す。一方、ONであればステップ115へ進む。

【0036】[ステップ115] ステップ109に記憶した情報に基づいてフォーカス駆動回路8を介してフォーカスマータ9を動作させ、不図示の焦点調節用レンズを合焦位置へ駆動する。

【0037】[ステップ116] ステップ111により得られた情報に基づいてシャッタ駆動回路7を介して不図示のシャッタ開閉を行う。また、低輝度等のストロボ発光条件にあった場合は、シャッター羽根の開閉に合ったタイミングで、ストロボ駆動回路5を駆動し、キセノン管6を発光させる。

【0038】[ステップ117] 撮影駒の所定位置に年月日等のデータ情報などを写し込む。

【0039】[ステップ118] フィルム駆動回路3およびフィルム給送用モータ4を介して撮影駒の巻き上

げを行う。

【0040】[ステップ119] ストロボ回路5へストロボ充電開始信号を出力し、ストロボ充電を撮影に備えて行う。そして、ストロボ回路15よりストロボ充電完了信号が入力されると、ステップ105へ戻って各種スイッチの入力待ち状態に入る。

【0041】図4はファインダー内表示のサブルーチンフローチャートであり、以下、これを用いて図3のステップ104、ステップ107及びステップ112の動作を詳しく説明する。

【0042】[ステップ301] パノラマスイッチPANOSWの状態を判別し、OFFであれば通常撮影用のステップ313へ、ONであればパノラマ撮影用のステップ302へ進む。

【0043】[ステップ302] パノラママスク30の駆動信号SEG1をオンして、パノラママスク30をオン状態とする。これにより、撮影者にパノラマ枠を表示することができる。

【0044】[ステップ303] 撮影モード設定スイッチで設定された撮影モードが強制発光モードであるか否かを判別し、強制発光モードであればステップ304へ、そうでなければステップ307へ移行する。

【0045】[ステップ304] 強制発光禁止マーク32の駆動信号SEG3をオンさせて、パノラマ枠の表示とともにこのマーク32をオン状態とし、マーク部分をパノラママスク30と区別できないようにして、強制発光禁止モードでは無いことを表示する。

【0046】[ステップ305] 駆動信号SEG2をオフして、強制発光マーク31をオフ状態とし、パノラママスク30中に中抜きマークとして現すことにより強制発光モードであることを表示する。

【0047】[ステップ306] 駆動信号SEG4をオンして、赤目緩和マーク33をパノラママスク30の表示とともにオン状態とし、マーク部分をパノラママスク30と区別できないようにして、赤目緩和モードで無いことを表示する。

【0048】[ステップ307] 撮影モード設定スイッチで設定された撮影モードが強制発光禁止モードであるか否かを判断し、強制発光禁止モードであればステップ308へ、そうでなければステップ309へ移行する。

【0049】[ステップ308] 駆動信号SEG2をオフして、強制発光禁止マーク32をオフ状態とし、パノラママスク30中に中抜きマークを現すことによって強制発光禁止モードであることを表示する。

【0050】[ステップ309] 駆動信号SEG2をオンして、強制発光マーク31をパノラママスク30とともにオン状態とし、パノラママスク30との区別をできなくすることにより強制発光モードで無いことを表示する。

【0051】[ステップ310] 駆動信号SEG3をオンして、強制発光禁止マーク32をパノラママスク30とともにオン状態とし、パノラママスク30との区別をできなくすることにより強制発光禁止モードで無いことを表示する。

【0052】[ステップ311] カメラの撮影モード設定スイッチで設定された撮影モードが赤目緩和モードであるか否かを判断し、赤目緩和モードであればステップ312へ、そうでなければステップ306へ移行する。

【0053】[ステップ312] 駆動信号SEG4をオフして、赤目緩和マーク33をオフ状態とし、パノラママスク30中に中抜きマークを現すことによって赤目緩和モードであることを表示する。

【0054】[ステップ313] 駆動信号SEG1をオフして、パノラママスク30をオフ状態として、通常撮影の表示をLCD23に行う。

【0055】[ステップ314] 撮影モード設定スイッチで設定された撮影モードが強制発光モードであるか否かを判断し、強制発光モードであればステップ315へ、そうでなければステップ318へ移行する。

【0056】[ステップ315] 強制発光禁止マーク32の駆動信号SEG3をパノラママスク30とともにオフさせて、強制発光禁止モードでは無いことを表示する。[ステップ316] 駆動信号SEG2をオンさせて、強制発光マーク31をオン状態として強制発光モードであることを表示する。

【0057】[ステップ317] 駆動信号SEG4をオフさせて、赤目緩和マーク33をパノラママスク30とともにオフ状態として赤目緩和モードで無いことを表示する。

【0058】[ステップ318] 撮影モード設定スイッチで設定された撮影モードが強制発光禁止モードであるか否かを判断し、強制発光禁止モードであればステップ319へ、そうでなければステップ320へ移行する。

【0059】[ステップ319] 駆動信号SEG2をオンして、パノラママスク30がオフの状態では強制発光禁止マーク32をオン状態として強制発光禁止モードであることを表示する。

【0060】[ステップ320] 駆動信号SEG2をオフし、強制発光マーク31をパノラママスク30とともにオフ状態として強制発光モードでないことを表示する。[ステップ321] 駆動信号SEG3をオフして、パノラママスク30がオフの状態では強制発光禁止マーク32をパノラママスク30とともにオフ状態として強制発光禁止モードでないことを表示する。

【0061】[ステップ322] 撮影モード設定スイッチで設定された撮影モードが赤目緩和モードであるか否かを判断し、赤目緩和モードであればステップ323

へ、そうでなければステップ317へ移行する。

【0062】[ステップ323] 駆動信号SEG4をオンして、パノラママスク30がオフの状態では赤目緩和マーク33をオン状態として赤目緩和モードであることを表示する。

【0063】以上説明したように、本実施形態では、パノラママスク30用のセグメント内撮影モードマーク31～33用のセグメントを組み込み、パノラママスク30がオン状態となるパノラマ撮影時には、撮影モード用のセグメントをオン状態とすることによって撮影モードマークを見かけ上不表示とし、またこれをオフ状態とすることによって撮影モードマークを見かけ上表示するようにしている。このため、パノラマ枠外のピント面を隠したまま、ファインダー内に明確に撮影モードを表示することができる。

【0064】(第2実施形態) 上記第1実施形態では、表示セグメントが遮光状態および透明状態にのみ変化するLCD23を用いる場合について説明したが、第1実施形態の要部の構成をそのままとし、LCD23を表示セグメントに印加する電圧のレベルを変えることにより表示セグメントの色が変化したり透明になったりするLCDに置き換えた構成としてもよい。

【0065】この場合、ファインダー内表示サブルーチンのフローチャートにおいて、駆動信号SEG1を、オンでパノラママスク30に発色させる電圧を印加する信号とし、オフで透明にさせる電圧を印加する信号とする。また、駆動信号SEG2～4をオンで各セグメントに発色させる電圧の印加を行い、オフで透明にさせる電圧を印加する信号とする。そして、オン時の電圧はパノラマスイッチPANOSWのオン時とオフ時で異ならせ、具体的には、オン時ではそれぞれに対応した表示セグメントがパノラママスク30と同色となる電圧、オフ時には異なる色となる電圧とする。

【0066】そして上記の構成とすることで、パノラマ撮影時にはパノラママスク30が表示されるとともにその時に選択された撮影モードの表示がパノラママスク30と異なる色で浮かび上がって表示される一方、非選択撮影モードではパノラママスク30と同色となることで見かけ上不表示となる。こうして、ファインダー内にパノラマ枠とともにカメラの出力情報を見易く表示することが可能となる。

【0067】なお、本実施形態における他の構成及びカメラの動作は第1実施形態と同様であるので説明を省略する。

【0068】また、本発明は、以上の実施形態および変形例、またはそれら技術要素を必要に応じて組み合わせてもよい。

【0069】しかも、本発明は、上記実施形態のカメラのほか、一眼レフカメラ、レンズシャッターカメラ、ビデオカメラ等、種々の形態のカメラ、さらにはカメラ以外

の光学機器に対しても適用できる。

【0070】（実施形態と請求の範囲との関係）上記実施形態において、LCD 23が請求の範囲にいう表示手段に、パノラママスク 30用のセグメントが請求の範囲にいう規制表示部に、撮影モードマーク 31～33用のセグメントが請求の範囲にいう情報表示部にそれぞれ相当する。なお、以上が本発明の各構成と実施形態の各構成の対応関係であるが、本発明はこれら実施形態の構成に限られるものではなく、請求項に示した機構または実施形態の構成が持つ機能が達成できる構成であればどのようなものであってもよい。

【0071】

【発明の効果】以上説明したように、本願第1の発明では、規制表示のみを行う規制表示部と、規制表示および所定の情報表示を選択的に行う情報表示部とを有した液晶表示器等の表示手段を用いてファインダー内表示装置を構成している。このため、本発明を用いれば、機械的に視野規制を行うための部材やこれを動作させる機構を設けることなく簡単な構成で、視野規制と情報表示とを行える表示装置を実現することができる。

【0072】そして、この発明では、例えばパノラマ撮影のため規制表示部を規制色にした場合に、情報表示部も規制色と同じ色とすることによって、情報を不表示状態とすることができるとともに視野規制領域内に不要なヒント面が現れてしまうことを防止することができる。また、規制表示部を規制色にした場合に、情報表示部を規制色と異なる色にすることによって、情報マーク等を

見易く浮き出させることができる。

【0073】さらに、本願第2の発明のように上記ファインダー内表示装置をカメラに取り付けることにより、使い易いカメラを実現することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1実施形態であるファインダー内表示装置の表示状態を示す図である。

【図2】上記ファインダー内表示装置を備えたカメラの要部構成を示すブロック図である。

【図3】図2中のCPUの動作を示すフローチャートである。

【図4】図3中のファインダー内表示サブルーチンのフローチャートである。

【図5】上記カメラの概略図である。

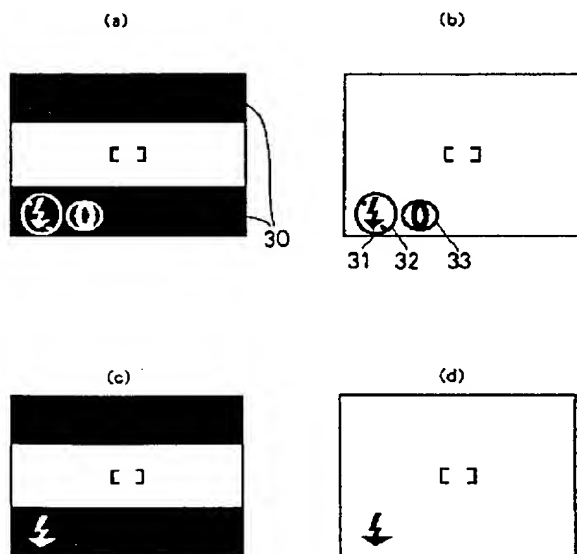
【図6】上記ファインダー内表示装置のブロック図である。

【図7】上記ファインダー内表示装置のLCDを示す図である。

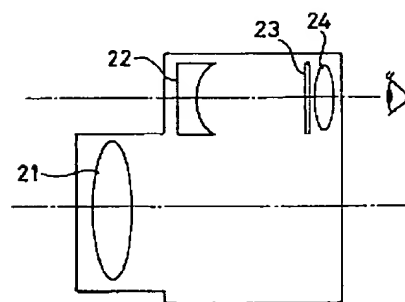
【符号の説明】

- 21 撮影レンズ
- 22 対物レンズ
- 23 透過型液晶表示器（LCD）
- 24 接眼レンズ
- 30 パノラママスク
- 31 強制発光マーク
- 32 発光禁止マーク
- 33 赤目緩和マーク

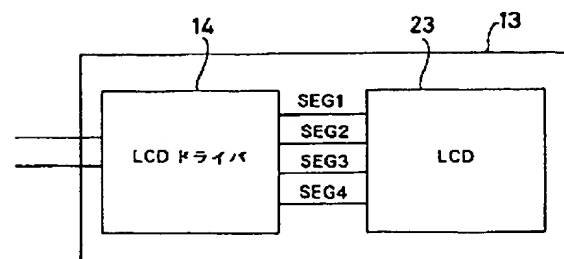
【図1】



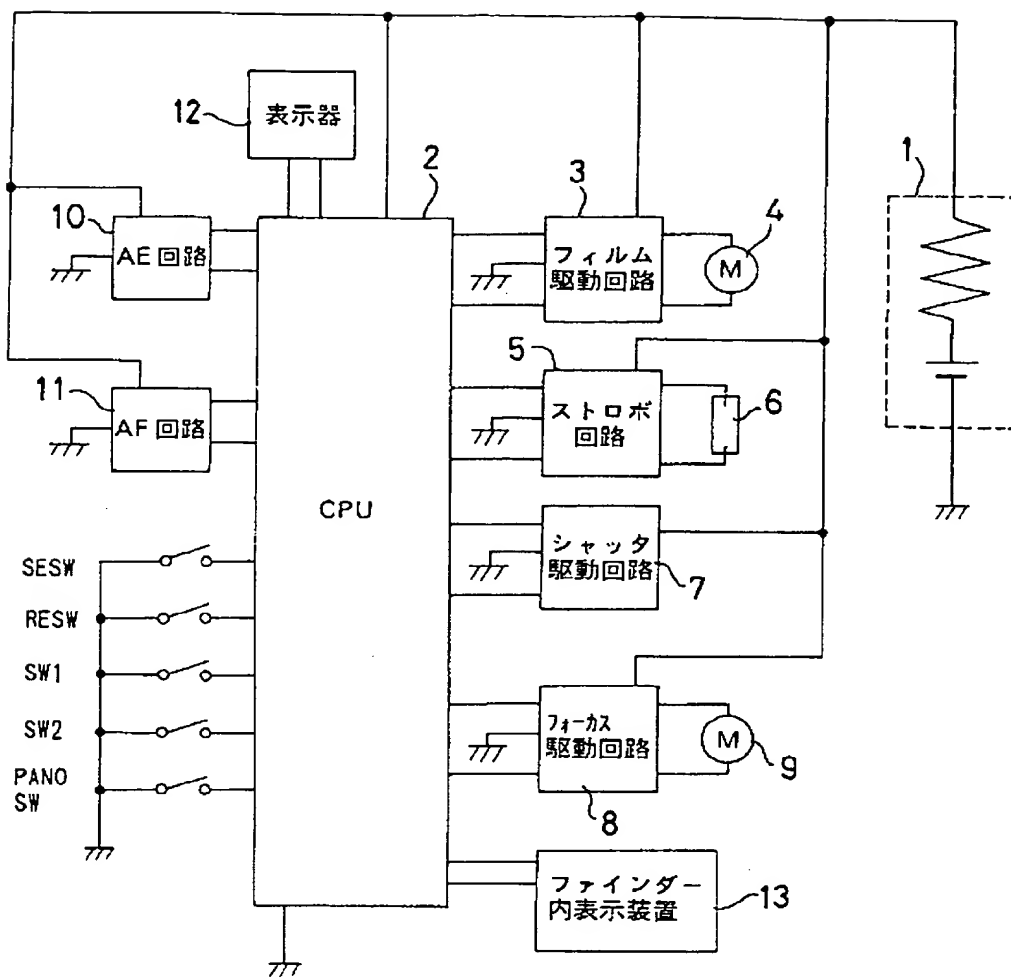
【図5】



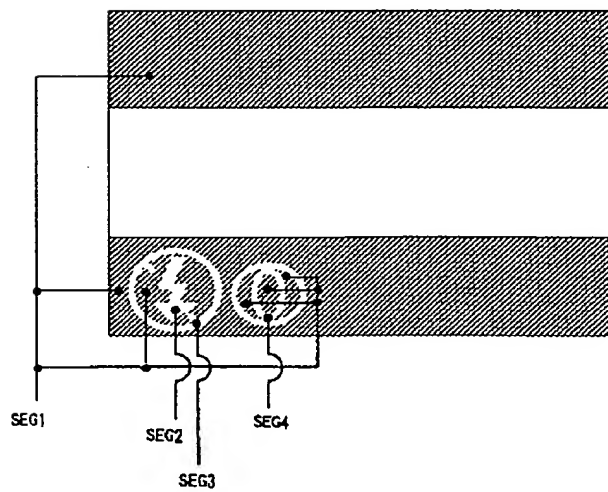
【図6】



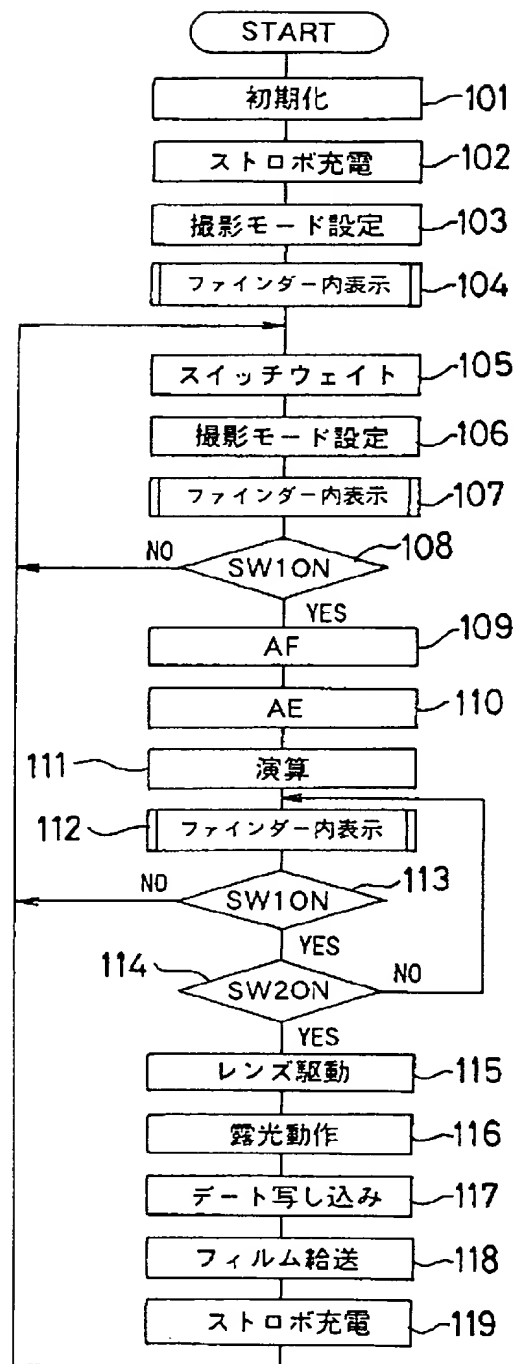
【図2】



【図7】



【図3】



【図4】

